

Oracle® Developer Suite

クイック・インストレーション・ガイド

10g リリース 2 (10.1.2)

部品番号 : B15778-01

2005 年 1 月

ORACLE®

Oracle Developer Suite クイック・インストール・ガイド, 10g リリース 2 (10.1.2)

部品番号: B15778-01

原本名: Oracle Developer Suite Quick Installation Guide, 10g Release 2 (10.1.2.0.0)

原本部品番号: B15524-01

Copyright © 2003, 2004, Oracle. All rights reserved.

制限付権利の説明

このプログラム (ソフトウェアおよびドキュメントを含む) には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記載された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。

独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段 (電子的または機械的)、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかるとの目的で使用する場合、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましたも、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

2 Oracle Developer Suite クイック・インストール・ガイド

Oracle は Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、Oracle Corporation または各社が所有する商標または登録商標です。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

はじめに

このマニュアルで説明されている各種サービスは日本オラクル社から提供されるサービスです。サービスは、製品をご購入された日本オラクル正規代理店各社から提供される場合もありますが、サービス内容はこのマニュアルの説明と異なることがあります。

第1章 「ご注文内容の確認」

第2章 「概要」

第3章 「このガイドに記載されているインストレーション」

第4章 「ハードウェア要件とソフトウェア要件」

第5章 「インストールの準備」

第6章 「CD-ROM のマウント」

第7章 「インストーラの起動」

第8章 「ソフトウェアのインストール」

第9章 「インストール完了後の作業」

第10章 「アップグレードと互換性」

第11章 「追加情報」

第12章 「その他の情報」

第13章 「ドキュメントのアクセシビリティについて」

1 ご注文内容の確認

メディア・パック受領後、ただちに同梱の Packing List をもとにパッケージ内容物を確認してください。破損、欠品、不明な点などのお問合せは、本製品をご購入された日本オラクル正規代理店、もしくは Oracle Direct までお寄せください。

メディア・パックには、このマニュアルの他に次の製品が同梱されています。

- 製品メディア

製品メディアには、製品をインストールするためのソフトウェアおよび README ファイルが含まれています。

- Start Here CD (赤いレーベル)

Start Here CD には、インストール・マニュアル、リリース・ノート、お役に立つインターネット・リンクおよびメディア・パックに関する情報が含まれています。

- Documentation CD

Documentation CD には、オラクル製品のオンライン・ドキュメントが含まれています。

注意： メディア・パックによって、Start Here CD や Documentation CD が同梱されていない製品があります。Packing List を参照して確認してください。

2 概要

このガイドは、Windows プラットフォームに Oracle Developer Suite 10g リリース 2 (10.1.2) をインストールする方法について、概要をまとめたものです。次の場合は、[第 3 章「このガイドに記載されているインストールシヨン」](#)に記載されている各種インストールシヨン・ガイドを確認します。

- この製品を本番環境にインストールしています
- 使用しているコンピュータに、Oracle 製品のいずれかが、すでにインストールされています
- オラクル社の新しい顧客です

Oracle Developer Suite 10g リリース 2 (10.1.2) のうち次のコンポーネントは、Windows 以外のバージョンもダウンロードできます。

- Oracle Business Intelligence Warehouse Builder (10.1.0.2.0)
- Oracle JDeveloper 10g (10.1.2)

Windows 以外のバージョンは、Oracle Technology Network (<http://www.oracle.com/technology/>) からダウンロードできます。ダウンロードすると、インストールシヨン・ガイドも添付されてきます。

Oracle Developer Suite 10g リリース 2 (10.1.2) について、他のドキュメントが必要な場合は、目的のコンポーネントの CD-ROM を入手してください。

- **Oracle Business Intelligence Tools:**

チュートリアル、リリース・ノート、クイック・ツアーなどの製品情報は、CD-ROM の「ようこそ」ページに収録されています。CD-ROM をマウントし（第 6 章「CD-ROM のマウント」を参照）、ルート・ディレクトリにナビゲートして、welcome.html を開きます。

Oracle Business Intelligence Tools ドキュメント・ライブラリも使用できます。CD-ROM をマウントし、ディレクトリ ¥doc にナビゲートして、index.htm を開きます。

- **Oracle Business Intelligence Warehouse Builder: CD-ROM のメイン・ドキュメント・ページから、製品情報と（PDF 形式および HTML 形式の）マニュアルを入手できます。** CD-ROM をマウントし（第 6 章「CD-ROM のマウント」を参照）、ディレクトリ ¥doc にナビゲートして、index.htm を開きます。

注文の内容を確認する場合は、第 1 章「ご注文内容の確認」を参照してください。

3 このガイドに記載されているインストール シヨン

このガイドでは、Oracle Developer Suite のうち、次のコンポーネントのインストールシヨンについて説明します。

- Oracle Business Intelligence Tools (インストール・タイプは次の4つ)
 - **ビジネス・ユーザー** : OracleBI Spreadsheet Add-In をインストール
 - **管理者/パワー・ユーザー** : OracleBI Discoverer Administrator をインストール
 - **開発者** : OracleBI Beans をインストール
 - **カスタム** : 選択したサブコンポーネントをインストール
- OracleBI Warehouse Builder
- Oracle JDeveloper 10g (10.1.2)

コンポーネントのインストールシヨンの詳細は、そのコンポーネントのインストールシヨン・ガイドを参照してください。次の表に、インストールシヨン・ガイドが収録されている場所を示します。

表 1 各コンポーネントのインストール・ガイドが収録されている場所

コンポーネント	タイトル	場所
Oracle Business Intelligence Tools	Oracle Business Intelligence Tools インストール・ガイド	Oracle Business Intelligence Tools の CD-ROM 内の、次のディレクトリ <ul style="list-style-type: none"> ■ HTML: toc.htm ■ PDF: B14160.pdf
OracleBI Warehouse Builder	Oracle Warehouse Builder インストールおよび構成ガイド	CD-ROM 「Oracle Warehouse Builder 10g Release 1 (10.1.0.2.0) for Microsoft Windows NT/2000/XP」内の、ディレクトリ <ul style="list-style-type: none"> ■ HTML: ¥CD-ROM¥doc¥HTML¥OWBInstallationConfigurationGuide¥toc.htm ■ PDF: ¥CD-ROM¥doc¥PDF¥OWBInstallationConfigurationGuide.pdf
Oracle JDeveloper 10g (10.1.2)	Oracle JDeveloper のインストール・ガイド	Oracle JDeveloper 10g (10.1.2.0.0) for All Platforms の、ルート・ディレクトリに入っているファイル install.html

4 ハードウェア要件とソフトウェア要件

この章では、Oracle Developer Suite 10g リリース 2 (10.1.2) のハードウェア要件とソフトウェア要件を示します。

4.1 ハードウェア要件

表 2 ハードウェア要件

ハードウェア 構成要素	要件
CPU	Pentium III またはそれと同等のプロセッサ (866 MHz 以上を推奨)
メモリー	256 MB ¹
ディスク容量	1.2 GB あれば、すべてのオプションが実行可能
ページファイル 容量	1535 MB
TMP 容量	55 MB
ビデオ	1024x768 で、6 万 4,000 色以上が表示可能

¹ インストールに必要な最小容量。ただし、コンポーネントによっては、512 MB までのメモリーが実行に必要な場合もあります。詳細は、そのインストールেশョン・ガイド全体を参照してください。

4.2 オペレーティング・システムのソフトウェア要件

表 3 オペレーティング・システムのソフトウェア要件

オペレーティング・システム	要件
Windows NT 4.0 (OracleBI Warehouse Builder のみ)	<ul style="list-style-type: none">■ Server 4.0、Server Enterprise Edition 4.0、Terminal Server Edition■ Service Pack 6.0 以上 <p>注意：Windows NT Workstation はサポート対象外になりました。</p>
Windows 2000	Service Pack 3 以上の全エディション
Windows XP Professional	Service Pack 1 以上
Windows Server 2003	Oracle Business Intelligence Tools は、32 ビットのバージョンのみ使用可能。

注意： OracleBI Warehouse Builder は、32 ビットと 64 ビット、いずれのバージョンでも使用できます。64 ビットのバージョンは、Oracle Technology Network (<http://www.oracle.com/technology/>) からダウンロードできます。

4.3 ソフトウェア要件

他のソフトウェア要件は、次の各項で示します。

4.3.1 Oracle Database Oracle Database は、Oracle Business Intelligence Tools と OracleBI Warehouse Builder のどちらにも必要なソフトウェアです。Oracle Database 10g Enterprise Edition リリース 1 (10.1.0.3 以後) と Oracle9i Database のどちらも使用できます。

4.3.2 Microsoft Excel OracleBI Spreadsheet Add-In をインストールする場合は、そのコンピュータに Microsoft Excel をインストールしておく必要があります。

4.3.3 Oracle JDeveloper 10g BI Beans をインストールする場合は、そのコンピュータに Oracle JDeveloper 10g リリース 10.1.2 をインストールしておく必要があります。Oracle Developer Suite に同梱されている CD には、Oracle JDeveloper 10g リリース 10.1.2 が収録されています。

4.4 共存要件

受入れ可能な Oracle ホームにソフトウェアをインストールできるようにするには、次の各項をチェックしてください。

4.4.1 Oracle Business Intelligence Tools Oracle Business Intelligence Tools をインストールできる Oracle ホームの構成は次のとおりです。

- どの Oracle 製品も使用していない新規の Oracle ホーム
- 標準的な Oracle Application Server 10g リリース 2 (10.1.2) 中間層がインストールされている既存の Oracle ホーム
- Oracle Business Intelligence 10g リリース 2 (10.1.2.0.0) がインストールされている既存の Oracle ホーム

4.4.2 OracleBI Warehouse Builder OracleBI Warehouse Builder は、それ専用の Oracle ホームにのみインストールできます。他の Oracle 製品がインストールされている Oracle ホームには、OracleBI Warehouse Builder をインストールしないでください。

4.4.3 Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) は、それ専用の Oracle ホーム・ディレクトリにインストールすることをお勧めします。Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) を既存の Oracle ホームにインストールすると、Oracle Universal Installer でアンインストールすることができなくなります。

5 インストールの準備

開始する前に、次のタスクを実行します。

1. **管理者**グループのメンバーとして、コンピュータにログオンしていることを確認します。
 2. Oracle のアプリケーションおよびサービスをすべて停止し、さらにそれ以外のアプリケーションをすべて停止します。
 3. ロケールを設定します。インストーラが使用するユーザー・インタフェース言語は、Java Virtual Machine (JVM) の設定に基づいており、その設定はさらに、オペレーティング・システムのロケールに基づいています。特定のロケールでインストーラを実行するには、インストーラを起動する前にオペレーティング・システムのロケールを設定しておきます。
 4. 次の各環境変数の値が、1,024 文字を超過していないことを確認します。
 - PATH
 - CLASSPATH
 5. OracleBI Warehouse Builder は削除したが、パス `oracle_home\owb\j2ee\owbb` は残っている場合は、Warehouse Builder を再インストールする前に、owbb ディレクトリを削除してください。
 6. **OracleBI Warehouse Builder のみ** : Oracle Database の中で、**SYSDBA** 権限を有するユーザーとしてアクセスしてください。
- 14 Oracle Developer Suite クイック・インストレーション・ガイド

6 CD-ROM のマウント

次の表で、インストールするコンポーネントを収録した CD-ROM を見つけてください。

表 4 Oracle Developer Suite のコンポーネントのメディア・タイトル

コンポーネント	CD-ROM のタイトル
Oracle Business Intelligence Tools	Oracle Business Intelligence Tools 10g
OracleBI Warehouse Builder	Oracle Warehouse Builder 10g Release 1 (10.1.0.2.0) for Microsoft Windows NT/2000/XP

CD-ROM をマウントするには、次の手順を実行します。

1. CD-ROM をコンピュータに挿入します。コンピュータで自動実行機能がサポートされている場合は、インストーラが起動します。
2. 自動実行機能がサポートされていない場合は、Windows Explorer を使用して、CD-ROM のルート・ディレクトリにあるプログラム `setup.exe` を見つけます。インストーラを起動するには、このプログラムを実行します。

7 インストーラの起動

Oracle Business Intelligence Tools と OracleBI Warehouse Builder は、Oracle Universal Installer を使用します。Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) はこのプログラムを使用しないため、インストールを実行するには、[第 8 章「ソフトウェアのインストール」](#)に進みます。

Oracle Universal Installer を起動するには、次の手順を実行します。

1. インストールするコンポーネントを収録した CD-ROM を選択します。CD-ROM のタイトルは[表 4「Oracle Developer Suite のコンポーネントのメディア・タイトル」](#)に列挙されています。
2. CD-ROM をマウントします。手順については、[第 6 章「CD-ROM のマウント」](#)を参照してください。
3. 必要に応じて、CD-ROM のルート・ディレクトリにあるプログラム `setup.exe` を実行して、Oracle Universal Installer を起動します。
4. このソフトウェアのインストール手順については、[第 8 章「ソフトウェアのインストール」](#)を参照してください。

8 ソフトウェアのインストール

この手順は、Oracle Business Intelligence Tools と OracleBI Warehouse Builder のインストールに適用されます。Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) をインストールするには、[8.4 項「Oracle JDeveloper 10g \(10.1.2\) のインストール」](#)を参照してください。

8.1 インストールの最初の手順

1. Oracle Universal Installer は、ご使用のコンピュータをまずチェックして、ハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしているかどうかを確認します。このプログラムは、「ようこそ」画面が表示される前に共通ウィンドウで実行されます。
2. 次に、「ようこそ」画面が表示されます。「ようこそ」画面を確認し、「次へ」をクリックします。
3. このコンピュータに初めて Oracle 製品をインストールする場合は、インストール関連のファイルを格納するインベントリ・ディレクトリが作成されます。デフォルトのインベントリ・ディレクトリは次のとおりです。

```
system_default_drive
```

```
¥Program Files¥Oracle¥Inventory
```

注意： 変数 `system_default_drive` は、Windows がインストールされているドライブの指示子を表しています。通常の場合、これは C です。

4. 「ファイルの場所の指定」画面で、インストール先のパスと Oracle ホーム名を入力します。使用する Oracle ホーム・ディレクトリへの絶対パスを入力します。続行するには、「次へ」をクリックします。

注意： 環境変数の置換は使用しないでください。また、パス名にはスペースを使用できません。

8.2 インストール・タイプと製品の言語

「インストール・タイプの選択」では、インストール・タイプと製品の言語を選択できます。

- **Oracle Business Intelligence Tools:** 選択できるインストール・タイプは次のとおりです。
 - **ビジネス・ユーザー:** OracleBI Spreadsheet Add-In をインストール
 - **管理者 / パワー・ユーザー:** OracleBI Discoverer Administrator をインストール

- **開発者** : OracleBI Beans をインストール
- **カスタム** : 選択したサブコンポーネントをインストール
- **OracleBI Warehouse Builder**: OracleBI Warehouse Builder には、インストール・タイプが別々に用意されているわけではありません。言語の選択ができるのは「インストール・タイプの選択」画面のみです。
- **製品の言語** : コンポーネントの稼動する言語を選択するには、「**製品の言語**」をクリックします。このオプションを選択すると、「言語の選択」画面が表示され、コンポーネントのユーザー・インタフェースの翻訳版を複数インストールできます。NLS_LANG 環境変数の変更により、コンポーネントの実行前に言語を切り替えることができます。NLS_LANG で指定した言語の翻訳版をインストールしてあった場合は、コンポーネントは指定した言語で表示されます。それ以外の場合は、コンポーネントは英語で表示されます。あるコンポーネントをインストールしたら、そのコンポーネントをいったん削除して再インストールしないかぎり、追加の翻訳版をインストールすることはできません。

言語を選択するには、次の手順を実行します。

1. 「言語の選択」画面で、インストールする言語を「**使用可能な言語**」列から選択し、「**選択された言語**」列に移動します。
2. 言語の選択が終了したら、「**OK**」をクリックします。

インストール・タイプと製品の言語を選択したら、「**次へ**」をクリックして続行します。

8.3 実際のインストール手順

次の手順に従って、インストールを実行します。

1. **Oracle Business Intelligence Tools のみ** : インストール・タイプとして「カスタム」を選択した場合は、「使用可能な製品コンポーネント」画面が表示されます。インストールするコンポーネントを選択したら、「次へ」をクリックして続行します。
2. 「サマリー」画面の情報を確認し、「インストール」をクリックします。ファイルのインストールが開始されます。
3. **Oracle Business Intelligence Tools のみ** : BI Beans をインストールする場合は (インストール・タイプ「開発者」および「カスタム」の一部として使用可能)、「BI Beans をインストールする JDeveloper の場所の指定」画面が表示されます。

(JDeveloper 実行可能ファイルの場所ではなく) JDeveloper の Oracle ホーム・ディレクトリへのフルパスを指定します。JDeveloper がコンピュータにインストールされていない場合は、BI Beans もインストールされません。
4. 「インストール」画面が表示され、必要なファイルのコピーが開始されます。インストールの進行状況も表示されます。この画面から、インストール・ログ・ファイルのフルパスも確認できます。

5. インストール処理を中止するには、「**インストールの中止**」をクリックします。その後、インストール全体を中止するか、1つのサブコンポーネントのインストールを中止するかを選択できます。オラクル社では、インストール全体を中止することをお薦めします。1つのサブコンポーネントのインストールを中止すると、他のサブコンポーネントの機能が正常に動作しなくなる場合があります。
6. Oracle Net Configuration Assistant の実行中に、「**Configuration Assistant**」画面が表示される場合があります。Oracle Net Configuration Assistant が完了したら、その結果を「**Configuration Assistant**」画面で確認できます。

注意： Configuration Assistant の実行中には、何も表示されない場合があります。UI が表示されてインストールが一時停止した場合は、Configuration Assistant にエラーが発生しています。

7. インストールが完了すると、インストールの終了画面が表示されます。この画面には、インストールが成功したか失敗したかが示されます。「**終了**」をクリックし、「**はい**」をクリックしてインストーラを終了します。

8.4 Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) のインストール

Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) では、インストーラを使用しません。このコンポーネントをインストールするには、解凍ツールが必要です。クロスプラットフォームの解凍ツール Info-Zip は、<http://www.info-zip.org/> から無償でダウンロードできます。

注意： Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) は、既存の Oracle ホーム・ディレクトリにインストールしないでください。Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) を既存の Oracle ホーム・ディレクトリにインストールすると、Oracle Universal Installer でアンインストールすることができなくなります。

Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) をインストールするには、次の手順を実行します。

1. Oracle Developer Suite 10g リリース 2 (10.1.2) に同梱の CD-ROM 内の、ルート・ディレクトリに入っているファイル `jdev1012.zip` を見つけます。このファイルには、Windows Java SDK やオンライン・マニュアルなど、コンポーネント全体が含まれています。
2. 目的のディレクトリに `jdev1012.zip` を解凍します。

9 インストール完了後の作業

インストールが完了したら、次の作業を確認し、必要に応じて実行します。

9.1 一般的な作業

この作業は、すべてのコンポーネント、インストール・タイプおよびプラットフォームに適用されます。

1. **TNS 名:** インストール・タイプによっては、`tnsnames.ora` ファイルおよび `sqlnet.ora` ファイルが、`oracle_home¥network¥admin` ディレクトリに追加されます。これらのファイルの更新には、テキスト・エディタまたは Oracle Net Configuration Assistant ツールを使用できます。このツールの詳細は、『Oracle Net Services 管理者ガイド』、『Net9 管理者ガイド』または『Net10 管理者ガイド』を参照してください。
2. **NLS:** インストール時に選択した製品の言語ごとに、翻訳ファイルがインストールされています。実行時の言語を変更するには、`NLS_LANG` 環境変数を設定します。詳細は、『Oracle Business Intelligence Tools インストレーション・ガイド』または『Oracle Warehouse Builder インストレーションおよび構成ガイド』を参照してください。

3. **アシスティブ・テクノロジー**: Java ベースのアプリケーションやアプレットを扱う際に、スクリーン・リーダーなどのアシスティブ・テクノロジーを使用する場合は、ご使用のコンピュータ上の Java 仮想マシンすべてに、Sun の Java Access Bridge をインストールしておく必要があります。

Java Access Bridge の入手方法およびインストール方法については、コンポーネントのインストール・ガイドを参照してください。

9.2 インストール完了後に行うコンポーネント別の作業

次の作業を確認し、インストールしたコンポーネントまたはサブコンポーネントに必要な作業を実行します。

9.2.1 OracleBI Beans の作業

- **追加のフォント**: インストール時に製品の言語のセットを選択すると、Java SDK がその言語を正しく表示できるように、フォントが自動的にインストールされます。このフォントは、次のディレクトリにインストールされます。

```
oracle_home/jdk/jre/lib/fonts
```

後になって、インストール時に選択しなかった言語でテキストを表示することが必要になる場合もあります。この言語のフォントは、自動的にインストールされませんが、手動でインストールできます。この手順、および Java フォントの詳細は、『Oracle Business Intelligence Tools インストール・ガイド』を参照してください。

9.2.2 OracleBI Warehouse Builder の作業

- **Design Repository、ランタイム・オブジェクト、Audit Browser およびオプションのコンポーネント**：インストールが完了したら、OracleBI Warehouse Builder のサブコンポーネントをコンピュータに設定する必要があります。これは、インストールした OracleBI Warehouse Builder ソフトウェアで行います。この手順は、『Oracle Warehouse Builder インストールガイド』を参照してください。

9.2.3 Oracle JDeveloper 10g (10.1.2)

このコンポーネントに固有の作業はありません。

10 アップグレードと互換性

この章では、Oracle Developer Suite のコンポーネントのアップグレードおよび移行の手順をまとめます。また、Oracle Developer Suite などの Oracle 製品について、過去のバージョンで報告されていた互換性をめぐる問題についても説明します。

10.1 過去のバージョンの Oracle Developer Suite からのアップグレード

この項では、Oracle Developer Suite のコンポーネントの、過去のバージョンからのアップグレードおよび移行の方法を説明します。

- **BI Beans:** 既存の BI Beans プロジェクトを Oracle9i JDeveloper (9.0.4) から移行する手順については、『Oracle Business Intelligence Tools インストール・ガイド』の第 2 章を参照してください。
- **Discoverer Administrator:** 既存の End User Layer で Oracle Business Intelligence Tools を使用するには、まず End User Layer をアップグレードする必要があります。この手順は、『Oracle Business Intelligence Discoverer 管理ガイド』の第 24 章「古いバージョンの Discoverer からのアップグレード」を参照してください。
- **Discoverer Desktop:** 既存の End User Layer で Discoverer Desktop を使用するには、まず Discoverer Administrator で End User Layer をアップグレードする必要があります。『Oracle Business Intelligence Discoverer 管理ガイド』の第 24 章「古いバージョンの Discoverer からのアップグレード」を参照してください。

- **OracleBI Warehouse Builder:** 現行バージョンの OracleBI Warehouse Builder に移行する手順については、『Oracle Warehouse Builder インストールレーションおよび構成ガイド』の第 3 章を参照してください。
- **Oracle JDeveloper 10g (10.1.2) :** ユーザー設定を過去のリリースの Oracle JDeveloper から移行する手順については、Oracle JDeveloper のインストールレーション・ガイドの第 2 章を参照してください。

11 追加情報

この項では、次の内容について説明します。

- 11.1 項「製品のライセンス」
- 11.2 項「オラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ」
- 11.3 項「製品マニュアルの入手方法」

11.1 製品のライセンス

このメディア・パックに含まれている製品は、トライアル・ライセンス契約に基づき、30 日間、インストールおよび評価できます。ただし、30 日間の評価期間後もいずれかの製品の使用を継続する場合、プログラム・ライセンスをご購入いただく必要があります。

11.2 オラクル社カスタマ・サポート・センターへのお問合せ

Oracle 製品サポートをご購入いただいた場合、オラクル社カスタマ・サポート・センターに、年中無休で 24 時間いつでも、お問い合わせいただけます。Oracle 製品サポートの購入方法、またはオラクル社カスタマ・サポート・センターへの連絡方法の詳細は、オラクル社カスタマ・サポート・センターの Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

11.3 製品マニュアルの入手方法

Oracle 製品のマニュアルは、HTML および Adobe 社 PDF 形式で提供されており、入手方法がいくつかあります。

- メディア・パック内のディスク：
 - プラットフォーム固有のマニュアルは、製品ディスクに含まれています。マニュアルにアクセスするには、CD-ROM のトップレベル・ディレクトリにある `welcome.htm` ファイルを参照してください。
- Oracle Technology Network Japan の Web サイト：
<http://otn.oracle.co.jp/document/>

PDF ドキュメントを表示するには、必要に応じて、Adobe 社の Web サイトから、無料の Adobe Acrobat Reader をダウンロードしてください。

<http://www.adobe.com/>

12 その他の情報

12.1 クイック・リファレンス

リソース	連絡先 / Web サイト
開発者向けのテクニカル・リソースにアクセスできます。	http://otn.oracle.co.jp/
インストール・マニュアルにアクセスできます。	http://otn.oracle.co.jp/tech/install/
サポート・サービスに関する情報にアクセスできます。	http://www.oracle.co.jp/support/
日本オラクル技術営業の連絡先です。	0120-155-096 (受付時間等の詳細は後述します。)

注意： ドキュメント内に記載されている URL や参照ドキュメントには、Oracle Corporation が提供する英語の情報も含まれています。日本語版の情報については、前述の URL を参照してください。

12.2 オラクル製品のインストールに関する情報

オラクル製品のインストールに関する情報およびマニュアルを提供しています。

次の URL を参照してください。ただし、個々の環境に依存する問題または検証が必要となるようなケースでは、サポート・サービス（有償）の契約が必要になりますのでご了承ください。

□ OTN インストール・センター

<http://otn.oracle.co.jp/>

「OTN」 → 「テクノロジーセンター」 → 「インストール」

□ Oracle Technology Network 掲示板

<http://otn.oracle.co.jp/>

「OTN」 → 「掲示板」 → 「ビギナー」の「初心者部屋」

□ インストレーション・ガイド・ダウンロード

<http://otn.oracle.co.jp/>

「OTN」 → 「ドキュメント」 → 「製品名」 → 「OS」

□ 製品 FAQ 検索

<http://support.oracle.co.jp/>

「Oracle Internet Support Center」 → 「製品 FAQ 検索」

キーワード: 「インストール」、「install」など

上記を参照しても解決されないインストール時の不明点または問題点については支援サービスを提供しています。下記オラクル製品が対象になりますので次の URL から質問してください。

http://www.oracle.co.jp/install_service/

- 対象製品：
 - Oracle Database Standard Edition
 - Oracle Database Personal Edition
 - Oracle9i Application Server Java Edition
- 対象 OS：
 - Linux x86
 - Microsoft Windows

12.3 Oracle Technology Network Japan

OTN Japan は開発者に必要な技術リソースを提供する登録制、日本オラクル公式技術サイトです。OTN Japan に登録（無償）していただくと、技術資料、オンライン・マニュアル、ソフトウェア・ダウンロード、サンプル・コード、掲示板、ポイント・プログラム、オラクル関連書籍のディスカウント、OTN 有償プログラムなど様々なサービスを受けることができます。

□ OTN Japan 登録方法

<http://otn.oracle.co.jp/>

この URL から「OTN の歩き方」を参照してください。

□ 技術資料

<http://otn.oracle.co.jp/products/>

オラクル製品の最新情報を提供します。目的とする技術資料を容易に参照できるわかりやすいカテゴリになっています。

□ ソフトウェア・ダウンロード

<http://otn.oracle.co.jp/software/>

オラクル製品のトライアル版、早期アクセス版、ユーティリティ、ドライバなどを無償でダウンロードできます。最新バージョンをタイムリに掲載していますので、OTN Japan で提供している技術資料、ドキュメント等とあわせて使用することにより、いち早く最新のオラクル・テクノロジーを体験できます。

□ ドキュメント

<http://otn.oracle.co.jp/document/>

オラクル製品のインストール・ガイド、リリース・ノート等のドキュメント（マニュアル）を掲載しています。製品に同梱されているドキュメントから有償マニュアルにいたるまで、最新のドキュメントをタイムリに掲載しています。

□ サンプル・コード

http://otn.oracle.co.jp/sample_code/

開発者に参考としていただけるよう、プログラムのサンプルを掲載しています。オラクル最新テクノロジーに準拠したサンプル・プログラムの数々をお役立てください。

□ 掲示板

<http://otn.oracle.co.jp/forum/>

オラクル製品を使用して開発される皆様のためのコミュニティです。**Web**によるディスカッション・フォーラム（掲示板）を通して、オラクル開発者間での情報交換ができます。それぞれの開発ノウハウを共有することで、より効率的な開発ができます。**OTN** 掲示板専用のビューア「**OTN Viewer**」も使用していただけます。

□ ポイント・プログラム

<http://otn.oracle.co.jp/point/index.html>

OTN Japan 活性化に貢献された会員の皆様にポイント進呈する **OTN** ポイント・プログラムを設けています。獲得ポイントは **OTN** グッズと交換したり、掲示板投稿時の懸賞ポイントとして使用できます。

□ OTN 有償プログラム

<http://otn.oracle.co.jp/upgrade/index.html>

OTN 有償プログラムは、**OTN** 会員の皆様向けの有償アップグレード・サービスです。**OTN Japan** サイトで提供している無償サービスに加え、最新のオラクル製品を開発ライセンスで使用していただける **OTN Software Kit**（日本語版 CD-ROM）の送付やオラクル技術書籍ご購入時のディスカウントなど、有償ならではの様々なサービスを提供します。

- お薦めサービス「SQL 構文検索サービス」

<http://otn.oracle.co.jp/document/sqlconst/>
SQL 文や SQL 関数をオンラインで参照できる SQL 構文検索サービスです。

- お薦めサービス「エラー・メッセージ検索 (Oracle9i)」

<http://otn.oracle.co.jp/document/msg/>
オラクル製品の使用中に表示されるエラー・メッセージについて検索できます。

- お薦めサービス「TechBlast メールサービス」

<http://otn.oracle.co.jp/techblast/>
OTN Japan では、配信を希望された会員の皆様へほぼ月に 1 ~ 2 回メールをお送りしています。新着情報のほか、会員の皆様には是非ともお知らせしたいセミナーやイベント情報、製品や最新技術に関する連載を掲載しています。

12.4 OracleDirect

OracleDirect では、電話とインターネットを通じて、製品ご購入前のオラクル製品に関するご質問をはじめとする、お客様からの様々なお問合せに対応いたします。

OracleDirect に関する詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.co.jp/contact/>

□ お問い合わせ先

TEL: 0120-155-096

FAX: 03-4326-5020

Web 問合せ : <http://www.oracle.co.jp/contact/>

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

また、OracleDirectにてお受けできるご質問内容は次のとおりとなりますので、ご連絡の前に確認をお願いいたします。

□ ご質問にお答えできる内容 (概要)

- 製品に関して日本国内で公表されている一般的な内容
 - 出荷日、出荷予定日
 - 価格およびライセンス
 - システム要件
 - ハードウェア (メモリ容量、ディスク容量)
 - ソフトウェア (対応 OS、対応コンパイラなど)
 - 製品の基本機能 (カタログに記載されているレベルまで)
 - 製品バージョン (RDBMS、Net 等の接続対応バージョンの案内)

- サポート・サービス契約の概要
サポート・サービス契約の照会、確認、お見積もりはディストリビューションセンターまでお願いいたします。
- カタログ、資料請求、セミナー内容に関するお問合せ
- お客様の個別環境への提案
- 製品概要の説明や応用例、システム構成について営業担当者への直接相談

次のお問合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

- マニュアルに関すること（オンライン・マニュアルも含む）
- 国内未発表の内容（日本オラクルが正式に公表した内容以外のもの）
- 他社から販売されているオラクル関連製品に関するお問合せ
- 技術的な内容（テクニカルサポート・レベル）

12.5 サポート・サービス

オラクルではお客様のシステムの健康状態を維持するために、Oracle Support Services をご用意しています。オラクル製品の専門技術者が、様々な形でお客様の問題解決のお手伝いをいたします。

- 障害回避策提示
- 修正プログラムの提供

- インターネット・サポート
- 技術情報の提供など

Oracle Support Services のサポート・サービス契約をお持ちのお客様は、次の技術サポートを受けられます。サポート・サービスには電話やインターネットによる技術サポートのほか、インターネット上での各種技術情報へのアクセス、ご契約済み製品のバージョンアップ用メディアの提供、Oracle Support NewsLetter（毎月）の提供などが含まれます。

□ 技術サポート

ご契約のお客様は、インターネットおよび電話による技術サポートを受けられます。お問合せは、毎日 24 時間受け付けております。お問合せの方法についての詳細は、初回ご契約時にお送りする「Oracle Support User's Guide」をご覧ください。

インターネットでは、次の Web サイトで Oracle Support Services について紹介しています。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

□ OiSC (Oracle internet Support Center)

サポート・センターでは、24 時間ご利用いただけるポータル Web サイトとして OiSC をご用意し、お客様に役立つサポート・サービス関連情報を提供しています。

- サポート関連の新着情報
- インターネット上での Oracle Support NewsLetter の参照

- パッチのダウンロード
- お問い合わせの受付、更新、状況確認
- 下記 **MetaLink** へのリンク
- サービス内容のご紹介

□ KROWN

ディレクトリ・サービスやキーワード検索サービスを備えた、25,000 タイトル以上からなる技術情報です。前記 **OiSC** からご利用ください。

MetaLink: Oracle Support Services をご契約のお客様は、**Web** によるサポート・サービスである **MetaLink** を 24 時間ご利用いただけます。

MetaLink は、全世界から集められた英語での技術情報が収録されている知識ベースです。インターネット上でご覧いただけます。

□ Oracle Support NewsLetter

毎月更新されるサポート技術情報や、新しいバージョンの製品情報などを **Email** または **Web** でお届けします。**Oracle Support NewsLetter** には以下の情報が掲載されています。

- 毎月の新着情報
- 技術情報 (Q&A、Oracle User バックナンバーなど)
- お客様へのご案内
- **Oracle Support NewsLetter** は **OiSC** でもご覧いただけます。

□ お問い合わせ先

日本オラクル株式会社 ディストリビューションセンター

TEL: 0570-093812

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

ディストリビューションセンターでは、**Oracle Support Services** のサポート・サービス契約について、次のような情報をご案内いたします。

- 新規サポート・サービス契約に関するご相談
- サポート・サービス契約に基づくサービス内容のご紹介
- サポート・サービス契約書の記入方法
- サポート・サービス料金について

または、次の **Web** サイトにアクセスしてください。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

12.6 研修サービス

日本オラクルの研修サービスに関する詳しいお問合せは下記までお願いいたします。研修サービスに関する詳細は、次の **Web** サイトでもご紹介しています。

<http://www.oracle.co.jp/education/>

□ お問い合わせ先

日本オラクル株式会社 オラクルユニバーシティ

TEL: 0120-155-092

FAX: 03-5766-4400

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

13 ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社は、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントを簡単にご利用いただけることを目標としています。オラクル社のドキュメントには、ユーザーが障害支援技術を使用して情報を利用できる機能が組み込まれています。HTML 形式のドキュメントで用意されており、障害のあるお客様が簡単にアクセスできるようにマークアップされています。標準規格は改善されつつあります。オラクル社はドキュメントをすべてのお客様がご利用できるように、市場をリードする他の技術ベンダーと積極的に連携して技術的な問題に対応しています。オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/accessibility/> を参照してください。

13.1 ドキュメント内のサンプル・コードのアクセシビリティについて

JAWS (Windows のスクリーン・リーダー) は、ドキュメント内のサンプル・コードを正確に読めない場合があります。コード表記規則では閉じ括弧だけを行に記述する必要があります。しかし JAWS は括弧だけの行を読まない場合があります。

13.2 外部 Web サイトのドキュメントのアクセシビリティについて

このドキュメントにはオラクル社およびその関連会社が所有または管理しない Web サイトへのリンクが含まれている場合があります。オラクル社およびその関連会社は、それらの Web サイトのアクセシビリティに関する評価や言及は行っておりません。

